

# 野生イノシシの死体処理における制度的整理及び関係部局間の連携強化について

## 背景

豚熱感染拡大の状況においても、野生イノシシの死亡個体の処理について、制度的な整理がこれまで明確でなかった（※捕獲個体の死体処理については整理がされている）。

## 問題点

全国アンケート、実地演習・検討会を通じて浮かび上がった問題点

### 1 現状

自治体における野生イノシシの死体処理についての自治体内で対応の苦慮

- ・ 捕獲と同様に埋置している場合が制度的に問題ないのか？
- ・ 関係部局間の連携が困難・不十分

### 2 今後可能性のある事態

- 野生イノシシにおける
  - ・ 豚熱の感染拡大リスク大
  - ・ アフリカ豚熱の侵入リスク大



**死体急増の恐れ**

**！ 死体処理でつまづき、感染リスクのあるイノシシの死体放置が増加すると・・・**

- ・ 豚熱・アフリカ豚熱の感染拡大リスク拡大（特にアフリカ豚熱で問題）
- ・ 環境衛生・公衆衛生上のリスク拡大（悪臭・腐敗による環境汚染等）

各県での、野生イノシシでのアフリカ豚熱対策としての実地演習等を進めるためにも、これらの問題点の解決と関係部局の連携強化は必須！

関係省庁・部局が統一見解を示すことで、死体処理における制度的問題点の解決・自治体内での関係部局の連携強化に資する

## 経緯・状況

- 1 1 月 死体処理に関する全国アンケート調査
- 1 1 月 末 農林水産省豚熱アフリカ豚熱対策本部会議
- 1 2 月 末 筑波山麓での実地演習・意見交換会
- 1 月 必要な制度的整理について検討
- 1 月 末～ 関係省庁・部局で検討
  - 農林水産省
  - ・消費・安全局
  - ・農村振興局
  - ・林野庁

## ○環境省

- ・環境再生・資源循環局
- ・自然環境局

★速やかな対応が必要であることについて一致

通知において必要な事項

- ・死体処理方法に関する制度的な明確化
- ・自治体内・関係者における連携強化
- ・処理における安全性
- ・死体における検査の推進

関連5局庁長の連名による通知の年度末の発出に向けて、現在最終作業中